



January, 2012



Afghan News

最新ニュース

アフガニスタン警備 発展状況

反政府過激派組織の3000人以上が昨年、平和への道を歩み始めた。

この20年の間に50万個以上の対人地雷、2万2千個以上の対戦車地雷15万個以上の不発弾がアフガニスタンの地から取り除かれた。世界で最も地雷の埋められているこの地から地雷がなくなるのも、そう遠くはないだろう。

アフガニスタン国家警察は今、14万人以上の警察を採用し2014年までには15万5千人まで増やす予定だ



玄葉外務大臣がアフガニスタン訪問 同国カルザイ大統領、ラソウル外務大臣が歓迎

1月11日、ハーミド・カルザイ大統領は、アフガニスタンを訪れた玄葉光一郎外相を歓迎した。官邸での会談にてカルザイ大統領は、玄葉外相の訪問に深謝すると共に、日本政府および国民による有意義な支援に対し、アフガニスタン政府と国民を代表して深い感謝の意を表した。

玄葉外相はまた、同国ザルマイ・ラソウル外務大臣とも会談し、議題は本年の夏頃に行われる東京会議に及んだ。

本年の東京会議は、昨年行われたボン会議での成果を基として行われる予定であり、アフガニスタンの復興、開

発に対する各国からの援助についての再考、その最適化が目指される。2014年から10年間の援助、協力のあり方について議論される見込み。

全国各地で教育施設の拡充が進む

バルフ州では、大学に準ずる高等教育機関の建設が予定されている。アルヤイアンと名づけられるこの教育機関では、およそ550人の学生に対し、工学、行政、経済、貿易、会計学の分野の教育が提供される予定である。

(Continued on page 2)

Inside this issue:

Latest News Pg.1-4

また、ロガール州のムハンマド・アグハ地区では8つの教室を擁する平屋建ての女子校向け校舎が、中央アジア機関(CAI; Central Asian Institute)の援助によって建設され、落成した。同校の学生総数は320人に上る見込み。

ファーリヤブ州のダウンラタバッド地区では、7つの教室がある中学校が今月初めに開校した。

更なる開発の継続により アフガニスタン国民に恩恵

中国の援助によって、パルヴァーン州に灌漑水路が建設中である。当水路の建設は70年代に中国の主導で開始されたが、未完成のまま工事が中断していた。当水路は数ヶ月のうちに完成し、パルヴァーン州だけでなく、隣接するカピサ県およびカブールの農地に灌漑用水を供給する予定である。

また、この1月クナール州サワキ地区のクナール川にて架橋工事が行われ、全長300メートルに及ぶ橋梁が完成した。当工事はアメリカの支援に基づいて行われた。

ヘルマンド州では、ゲレシク水力発電所に関する改良工事が行われた。総延長30キロメートルの電線が大容量向け送電線に置き換えられ、配電メーターが設置され、それにより5万人の近隣住民および地元企業へのより信頼性の高い電力供給が確立された。この計画はアジア開発銀行、英国およびデンマークによって支援された。

ヌーリスターン州ヌーガラム地区にそれぞれ30メートル長と10メートル長の2基の橋が建設される予

定である。2002年以来ヌーリスターン州では、農村復興開発省の主導で数多くの開発計画が実行されており、その数は673件に上る。これまでに521件が完了しており、2万2千人の農村地域の住人に恩恵をもたらした。

パルヴァーン州 内科診療所が新設

10病床を備えた内科診療所が日本政府援助のもと建設され、パルヴァーン県のシンワリ地区に開業した。この診療所では2万人以上の市民のために医療サービスを提供する予定である。

カブールの住所表記法 現代的に刷新

カブール市ではアフガンワイヤレスコミュニケーションカンパニーの支援により、道路や住居区の住所表記を近代的で正確なものへと変更している。第4、第10地区にてプロジェクトは始まり、他の地区でもまもなく着手される予定。

初めての石油抽出開始

アフガニスタンで初めてとなる石油生産が、本年10月より始まる。中国石油天然気集团公司と現地の提携会社ワタングループは、25年の期間でサーレポル州とファーリヤブ州のカシュカリ、バザーカミ、ザマードサイを含む3つの地区から原油を抽出する予定である。この3つの地区には8700万バレル程度の原油が埋蔵されていると考えられている。それに伴い、グループは2年以内に石油精製所を建設する予定だ。

この石油採掘事業により、天然資源による政府歳入が増加するだけでなく、地元住民に対して膨大な雇用機会が提供されることにな

る。

このほか、アフガニスタン北部には16億バレル以上の原油、16兆立方フィートの天然ガス、500万バレルの天然液体ガスが埋蔵されており、開発が待たれている。アフガニスタン国内には、豊かな燃料資源以外にも、銅、鉄、石炭、大理石、貴金属、宝石の原石や炭化水素など、3兆ドル相当の地下資源が埋蔵されていると考えられている。

5つ星ホテルが新規開業予定

マリオットグループが、6階建てのカブルグランドホテルをカブル国際空港付近のマスード広場に建設中だ。オープンは2013年2月予定されている。209部屋の客室に加え、カフェテリア、プール、アフガニスタンの結婚式場も併設される見込み。

世界とカブルをつなぐ 新しい空の便

サフィ・エアウェイズによれば、同社は新規国際線就航を目的として、航空機を3機購入予定であるとのこと。来年をめぐりに購入に踏み切る。現在サフィ社は2機のエアバス (B767、B737各1機) を所有しており、既存のカブルードバイ路線 (2日に1便) に加え、1月5日にカブル-アブダビ路線 (週4便) を就航したばかり。新しく購入する航空機は、2月に就航予定のカブル-バーレーン路線および5月に就航予定のカブル-カトマンズ路線に使用される見込みである。この他、カブル-デリー路線 (毎日1便)、カブル-ムンバイ路線 (週3便) も計画中であるとのこと。

2011年12月にはアフガニスタン国内初の鉄道も開業しており、陸海の両面から物流網の更なる発展が推し進められることになる。

(Continued on page 3)

**アフガニスタンのキックボクシング
チーム国際大会で金、
銀メダル獲得**

キックボクシングのアフガニスタン代表チーム計6名が、インドで開催された国際大会で、1つの金メダルと4つの銀メダルを獲得した。ファイズラー・ムハンマド選手が63キロ級で金メダルを獲得した他、アフマド・ワリ・アジーズ、グラーム・アッバス・ムハンマディ、ラザ・ハイダリ、ハディジャ・フサイ

ニらが銀メダルを獲得した。当国際大会には、アフガニスタンのほか、バングラディッシュ、インド、モルディブ、ミャンマー、ネパール、フィリピン、スリランカの各国が参加した。

**アフガニスタンの書道家
世界最大のコーランを作成**

アフガニスタンの書道家、モハマド・ザビール・ヘドリと、彼の弟子ら9人が世界最大のコーラン

を5年がかりで書き上げた。完成したコーランは、面積2.28メートル×1.55メートル、重さ500キログラム。美しく型押し加工された革表紙と、華麗に装飾されたページからなるこの世界最大の聖なる本は、現在カブール文化センターにて保管されている。

ヘドリ氏はこの偉業について「他の誰かが更に大きなコーランを作ったなら、それはイスラームに対する更なる奉仕となる。私にはその方が喜ばしいことです」と述べた。



106-0041 東京都港区麻布台2-2-1
在日本国アフガニスタン大使館

電話・ファックス
Tel: 03-5574-7611
Fax: 03-5574-0195

ウェブサイト

www.afghanembassyjp.org



Contact Us

当大使館のニュースレターに関するご意見、ご質問等ございましたら、大使館広報部 Jason Pratt宛に電子メールにてご連絡下さい。

pratt@afghanembassyjp.org